

3級 機械系保全作業 実技試験の出題について

3級 機械系保全作業 実技試験は、その能力や技能があるかどうかを、判断等試験方式で判定する試験です。出題は、下表の範囲から7課題出題されます。

3級 機械系保全作業 実技試験の「試験科目及びその範囲並びにその細目」
<p>◎機械の主要構成要素に生ずる欠陥の発見</p> <p>機械の主要構成要素に生ずる次に掲げる損傷等の徴候の発見ができること。</p> <p>(1) 焼付き (2) 異常摩耗 (3) 破損 (4) 過熱</p> <p>(5) 発煙 (6) 異臭 (7) 異常振動 (8) 異音</p> <p>(9) 漏れ (10) 亀裂 (11) 腐食</p>
<p>◎機械の異常時における対応措置の決定</p> <p>機械の異常時における対応措置に関し、次に掲げる作業ができること。</p> <p>(1) 異常の原因の発見</p> <p>(2) 異常の原因に応じた対応措置の決定</p>
<p>◎潤滑剤の判別</p> <p>潤滑剤に関し、次に掲げる判別ができること。</p> <p>(1) 種類 (2) 粘度 (3) 劣化の程度 (4) 混入不純物</p>

<過去の出題例>

- ・ ボルトおよびナットに関する問題
- ・ 潤滑油に関する問題
- ・ 工具および測定器に関する問題
- ・ 空気圧装置に関する問題
- ・ 軸受に関する問題
- ・ ねじに関する問題
- ・ キーおよびピンに関する問題
- ・ 密封装置に関する問題
- ・ 弁（バルブ）に関する問題

以上